

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 宮城県松島高等学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

「おもてなし」松島観光ガイド

【実施学年、部、講座等】

第1学年（男子 33名・女子 47名）

第2学年（男子 34名・女子 42名）

【目的・ねらい】

・ふるさと宮城再生を目指し、松島への訪問客に対しボランティアガイドを実施することで、コミュニケーション力と「おもてなしの心」を育む。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科（観光基礎・旅行業務）・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動
- ・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

（実施内容） ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

県外各地から訪れた修学旅行生に対して日頃の学習成果を活かし、松島海岸駅周辺の観光地案内を行った。また、国内に限らず台湾の修学旅行生に対しても英語での観光ガイドを行った。さらに、被災地である南三陸にも訪問し、現地での復興に関わる観光資源の調査と本校生徒の方策に関するプレゼンテーションを行った。



(実践上の工夫点、留意点等)

実習の事前学習として、授業内での事前・事後学習の徹底を行った。さらに、宮交観光サービス株式会社とJTB 総合研究所の協力のもと、講義とガイドの実践講習を年度の初めに受けることで、プロの考えや技術に触れることができた。

英語によるガイド実習では、英語科の教員のみならず、ALT との連携のもと、資料作成を行った。

(成果) ※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

観光科の一員として、地元松島の文化・歴史・地域を理解し、訪問者に対して「日本三景松島」の見所を案内することができる知識と技術を身につけることができた。また、地元松島の素晴らしさを学習することにより、郷土愛を育むとともに観光科としての自覚を促すことができた。さらに、ガイドとしての資質を育み、接客マナーを身につけ、コミュニケーション能力を高めることができた。

東日本大震災後の被災地への観光客集客に向けての取り組みを現地で視察し、現状と課題を把握して、今後の被災地観光発展のための方策を考える力が身についた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

今後、オリンピック・パラリンピックの開催に伴って、松島へ訪れる外国人観光客の増加が見込まれるため、英語学習と英語によるガイド実習を継続していく。さらに、多くの実習を通じて多くの観光客に満足していただけるような「おもてなしの心」を育む観光教育に力を入れていく。